

Press Release

報道関係者各位



2016年 4月 20日
ジー・ブーン株式会社

<IT企業の取り組み>

仕事をしながら社員の夢実現 社長も役職も関係なし 自分の夢が入ったニックネームで呼び合う制度 呼ばれるたびにモチベーションアップ

ITサービス事業を運営するジー・ブーン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:後藤稔行、社員数:50名)は、社内外に対し、数々のユニークな取り組みを行っています。その1つとして、社員同士を役職や名前ではなく、全員がニックネームで呼び合う制度です。

■自分の夢が入ったニックネーム

この制度で呼び合うのは単なるニックネームではなく、ルールがあります。まず、社員各自が自分のニックネームを考え、最終的に社長承認で決まります。名前は大切であるため、自分の夢が入っていることが絶対条件です。

当社は、「ドリーム企業」という概念の元、IT支援事業の他、タイビジネス支援、メイドインジャパン雑貨店の運営、教育セミナー等、多岐にわたる事業を展開しています。この「ドリーム企業」は、生活のためだけに働くのではなく、ビジネスをとおして、自分の夢を叶えるという定義です。人生の中で多くを占めるビジネスタイムと、自分の夢実現のために費やす時間の融合が出来たら、自分の人生も豊かになり、会社も成長し、しいては日本の発展の貢献にもつながります。社員のニックネームは、先陣を切っていく「戦士としての新しい名前」の意味を持っています。



ニックネーム、本名、役職、部署が一目でわかる一覧を各所に設置

■ニックネーム制度がもたらす効果

この制度のもたらす効果は、社員・企業双方において相乗効果を生み出しています。多くの目標未達の最大理由は忘れることにあります。自分の夢が入ったニックネームで呼ばれることにより、本人の夢が常に意識化され、モチベーションアップが図れます。そして、名前や役職で呼び合うよりも、お互いの距離感が縮まり、親近感が強まります。つまり、この制度は、呼び方ひとつで社員各自のポテンシャルが最大限に発揮でき、自分の夢が追いかけられ、強い

信頼関係を生み出します。

当社は、今後も夢とビジネスの融合を軸とし、夢を叶えたい企業と人へ、夢を叶えるために必要で有利なモノやサービスの提供を積極的に取り組んでいきます。

【制度概要】

名称:ニックネーム制度

時期:2006年創業時から導入

内容:社長、役職関係なく全員をニックネームで呼ぶ社内制度。ニックネームには自分の夢が入っていることが絶対条件です。

効果・自分の夢が入っているニックネームで呼ばれることにより、本人の夢が常に意識化され、モチベーションアップが図れます。

- ・名前や役職で呼び合うよりも、お互いの距離感が縮まり、親近感が強まります。
- ・社員各自のポテンシャルが最大限に発揮でき、自分の夢が追いかけられ、強い信頼関係を生み出します。

社員のニックネームとその由来:



本名:中野禎二(ニックネーム:マイスター)

当社の教育事業の責任者であり、セミナー講師等のキャリアを持っている中野の将来の夢は、日本一の夢を実現させる教育コーチになることです。ニックネームのマイスターは、ドイツ語で「師匠」や「巨匠」という意味で、専門技術職の最高位です。その名のごとく、いつまでも現役で皆に尊敬されるような存在でありたいという意味が入っています。



本名:岩上志穂(ニックネーム:ソラ)

岩上の夢は、世界に通じる人となり、国境に関係なく仕事をすることです。ニックネームの由来は、どんな時でも空を見上げることで元気になれること、そんなパワーの源である空は世界に繋がっているから、いつまでも自分の夢を忘れないようにこのニックネームにしました。



本名:出村健悟(ニックネーム:悟空)

出村は、昔から名前を「健吾」によく間違えられていました。ニックネームを決めるにあたり、「健悟」という名前をみんなに覚えてもらおうと閃いたのが「悟」を活かした西遊記に出てくる孫悟空です。孫悟空のような強い人間になって周りを助けられるような人になりたいという想いも込めこのニックネームにしました。

その他 ジー・ブーンの夢を叶える様々な取組み

- ビッグイベント: 一言でいえば“社会人的文化祭”です。時間的制限のある中、皆で一丸となって作品を作り上げる社内イベントで毎年開催されています。本物を体験しなければ一流にならないため、施設や移動手段も貸切りで行います。構成は映像部門とエンタメ部門の2部構成です。映像に力を入れている理由は、当社は今後動画が主流になると見据えており、社員はプロフェッショナル並みのスキルを構築しています。エンタメ部門は、プレッシャーに勝つ練習として1発勝負ネタで対抗し、強いチーム作りに役立てています。
- 夢会: 毎月1回週末に開催されます。社員各自が自分の夢に向かっての進捗状況と今後の方向性を仲間に報告します。実際、声に出すことにより、自分の夢が意識付けされ、仲間から応援をもらい自信と安心の効果が生まれます。また、企画力、タイムマネジメント力、運営力、提案力も育成されます。
- 社会人的インターン制度: ビジネスを通して現実に夢を叶えるのが当社の企業理念です。なので、ビジネスに強くなるための制度として2部制をとっています。1部は今担当している業務を行い、2部は未来のための勉強会として他の仕事を体験します。日本の人材は部分に特化するため、トータルな人材や事業家が育ちにくい環境です。この制度は、未来の仕事を体験することにより、トータルにものを考えられる人材育成を目的に行っています。



<昨年12月に行われたビッグイベントの映像部門の様様>

当日は映画館を貸切りで行いチーム対抗で発表します。当社は、今後動画が主流になることを見込み、映像作品はプロフェッショナル並みのスキルを構築しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

ジー・ブーン株式会社
 広報担当: 田村/桜井/岩上
 電話: 03-5207-8180 E-mail: pr@zeeboon.co.jp

ジー・ブーン広報事務局 担当: 新保
 電話: 03-5411-0066 FAX: 03-3401-7788
 携帯080-9874-4858 E-mail : pr@real-ize.com

■会社概要

社名	ジー・ブーン株式会社
英文社名	ZEEBOON Co., Ltd.
代表取締役	後藤稔行(ごとうとしゆき)
本社所在地	東京都千代田区神田須田町 2-19 野村第 3 ビル 6F TEL 03-5207-8180 FAX 03-5207-8189
ホームページ	http://www.zeeboon.co.jp/
社員数	50 名
設立	2006 年 7 月 7 日
資本金	4,180 万円
事業内容	IT支援事業 タイビジネス支援事業 メイドインジャパン雑貨 SHOP の運営 教育セミナー事業

※ 当社は、企業と社員、双方の夢実現の為に働く2ゴール達成企業「ドリーム企業(※商標登録第5592966号)」並びに「ドリームマネジメント(※商標登録第5539813号)」を目指しています。

■事業概要

ジー・ブーン株式会社は「ドリーム企業」という定義のもと、様々な事業を展開しています。当社は夢の大切さを理解しており、企業の夢と社員の夢を融合させてこそ、最大のパワーが発揮されると考えています。現在は、IT支援事業、タイビジネス支援事業、メイドインジャパン雑貨SHOPの運営、教育セミナー事業など様々な事業を展開しており、今年さらにはタイで新たに新事業を展開する運びとなりました。今後も更に新しい業態の事業を計画し、夢を叶えたい企業と人へ夢を叶える為に必要で有利なモノやサービスを提供していきます。

■社名の由来

ジー・ブーン (商標登録第 5218618 号)

ジー・ブーン(株)の社名は、「自分・自己」があつてこそその企業である姿を表現しています。ZEE の「Z」はアルファベットで一番最後の文字になります。即ち、Z は「究極の完結」を意味し、BOON は英語で「利益・賜りもの」を指します。つまり、自分達の英知や努力をもって、究極の「恵み」を獲得していく想いがこめられています。

■シンボルマークについて



全文字異なる色を使用していることは、色んな個性があつて良いことを意味し、また、「O」の目のマークと「N」の「↑」矢印が組み合わせることで、自分をしっかり見ながら自ら向上(成長)させていくことを表しています。



「ジブの夢冒険」に登場する竜(ドリームドラゴン)。人々の夢を追いかけるエネルギーを糧に成長を続け、全世界に沢山の夢の種を放出することができるようになる。全世界がもっともっと夢で満ち溢れるようにという願いが込められています。